



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月6日

上場会社名 不二ラテックス株式会社

上場取引所 東

コード番号 5199 URL <https://www.fujilatex.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 研二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 金原 辰弥

TEL 03-3293-5686

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,212	14.1	21	47.8	7	87.5	8	81.8
2020年3月期第2四半期	3,739	9.3	41	87.2	61	80.3	48	78.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 22百万円 (52.7%) 2020年3月期第2四半期 47百万円 (79.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	6.95	
2020年3月期第2四半期	38.21	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	12,195	3,100	25.4
2020年3月期	12,659	3,117	24.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 3,100百万円 2020年3月期 3,117百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				30.00	30.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800	5.7	157	338.9	88	159.4	61		48.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	1,286,199 株	2020年3月期	1,286,199 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	17,164 株	2020年3月期	16,769 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	1,269,316 株	2020年3月期2Q	1,269,559 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、第2四半期に入って緩やかな回復基調を続けているものの、新型コロナウイルス感染症拡大の長期化による先行き不透明感が強く、力強さに欠ける展開となりました。また、世界経済も欧州での感染再拡大が深刻化しているなど持続的な回復が懸念される状況となっております。

かかる状況は、中核事業である医療機器事業及び精密機器事業の市場環境に影響し、新型コロナウイルス感染症拡大による減収幅が想定より拡大したこともあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は、32億1千2百万円と前年同四半期に比べ5億2千7百万円(△14.1%)の減少となりました。

利益面では、販管費等の削減を進めましたが、営業利益は2千1百万円と前年同四半期に比べ1千9百万円(△47.8%)の減益、経常利益は7百万円と前年同四半期に比べ5千4百万円(△87.5%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は8百万円と前年同四半期に比べ3千9百万円(△81.8%)の減益となりました。

各セグメントの業績は次に示すとおりであります。なお、セグメント損益は、営業利益または営業損失に基づいております。

## ① 医療機器事業

主力のコンドームは、国内市場においては、商品の認知度向上を狙いにWeb広告や販促企画を展開し、大型小売店や大手ネット販売を中心とした販路開拓に継続的に注力しました。消費の減少傾向、価格の二極化、新素材製品のシェア上昇により厳しい状況が続くものの、新素材コンドームSKYNの定番化、ネット販売の伸長により売上は堅持いたしました。また、海外市場においては、特に中国市場における需要後退を受け、販売が減少しました。

なお、稼働予定時期を7月としていた新生産ライン(検査・包装工程)は、量産に向けた設備・機械の調整に時間を要しており、稼働時期は第4四半期から来期初め頃と想定しております。

超音波診断装置等のプローブカバー(感染予防製品)、内視鏡用医療バルーンを中心としたメディカル製品については、新型コロナウイルス感染症拡大による一般診療需要減少への影響が想定以上に拡大したことや、欧州向け輸出の一時停止等が影響いたしました。

この結果、売上高は10億7千3百万円と前年同四半期に比べ6千3百万円(△5.6%)の減少となりました。

セグメント損益は、売上減少に加えて競争激化に伴う利鞘の縮小、栃木千塚工場の竣工に伴う償却負担増加等もあり1億7百万円の損失(前年同四半期は8千6百万円の損失)となりました。

なお、メディカル部門の製造拠点を真岡工場から栃木千塚工場へ移転する計画につきましては、認証取得等の関係諸手続の進捗が遅れているため、移転時期を当初の10月から、12月及び来年3月の2段階移転へ変更しております。

## ② 精密機器事業

主力のショックアブソーバ及びロータリーダンパーは経済活動の停滞を受けた取引先の在庫調整や減産の影響を受けながらも、変動を最小限に抑えて推移いたしました。国内市場では取引市場毎に減速感に差がでており、一部の住宅設備市場では比較的堅調な受注が続きましたが、家電、複合機、一般産業機械、建機市場等における受注は停滞いたしました。海外市場では主に欧州市場での需要低迷により、販売計画を下回りました。

この結果、売上高は、19億円と前年同四半期と比べ4億1千8百万円(△18.0%)の減少となりました。

セグメント利益は、経費コントロールにつとめましたが、3億1千1百万円と前年同四半期と比べ5千1百万円(△14.2%)の減益となりました。

## ③ SP事業

主力のゴム風船が主体となる販促用品市場は、新型コロナウイルス感染症対策を受けたイベントの中止や取引先の休業等の影響が想定以上に拡大し、売上高は1億1千5百万円と前年同四半期に比べ7千9百万円(△40.9%)の減少となりました。

セグメント損益は、1千9百万円の損失(前年同四半期は1百万円の損失)となりました。

## ④ 食品容器事業

食品容器等の商材受注が順調に推移し、売上高は1億2千2百万円と前年同四半期に比べ3千4百万円(38.7%)の増加となりました。

セグメント利益は、5千2百万円と前年同四半期と比べ3千7百万円(254.4%)の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の総資産は、121億9千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ4億6千4百万円減少しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の3億3千3百万円の減少などです。

負債総額は90億9千4百万円となり、前連結会計年度末と比べ4億4千7百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の2億7千万円の減少などです。

純資産総額は31億円となり、前連結会計年度末と比べ1千7百万円減少しました。主な要因は、利益剰余金の2千9百万円の減少などです。この結果、自己資本比率は25.4%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、12億3千万円と前年同四半期連結累計期間と比べ1千3百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3億8千5百万円の収入（前年同四半期は2億8千5百万円の収入）となりました。

資金の主な増加要因は減価償却費の2億2千8百万円、売上債権の減少3億5百万円などであり、主な減少要因はたな卸資産の増加7千9百万円、仕入債務の減少5千1百万円などです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、3千9百万円の支出（前年同四半期は4億3千万円の支出）となりました。

資金の主な減少要因は有形固定資産の取得による支出3千6百万円などです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億8千5百万円の支出（前年同四半期は1億7千5百万円の支出）となりました。

資金の主な増加要因は短期借入金の純増額1億円であり、主な減少要因は長期借入金の返済による支出2億7千万円、リース債務の返済による支出7千5百万円などです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。なお、2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、2020年5月26日公表の2020年3月期決算短信の予想数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,501,286	1,556,837
受取手形及び売掛金	1,825,485	1,492,353
電子記録債権	357,948	385,641
商品及び製品	607,196	706,747
仕掛品	761,175	746,090
原材料及び貯蔵品	694,716	689,524
その他	173,199	73,269
貸倒引当金	△1,207	△903
流動資産合計	5,919,800	5,649,561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,793,768	2,715,458
土地	1,848,498	1,848,498
その他(純額)	1,529,523	1,411,794
有形固定資産合計	6,171,789	5,975,751
無形固定資産		
投資その他の資産	85,255	73,788
その他	477,767	492,113
貸倒引当金	△29	△29
投資その他の資産合計	477,737	492,083
固定資産合計	6,734,782	6,541,622
繰延資産	5,124	4,090
資産合計	12,659,706	12,195,274
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	241,245	248,786
電子記録債務	793,983	735,043
短期借入金	3,103,000	3,203,000
1年内返済予定の長期借入金	541,332	541,332
未払法人税等	—	15,252
賞与引当金	128,341	108,351
その他の引当金	—	4,124
その他	617,849	463,027
流動負債合計	5,425,752	5,318,918
固定負債		
社債	400,000	400,000
長期借入金	2,787,852	2,517,186
退職給付に係る負債	102,828	105,680
その他	825,698	752,961
固定負債合計	4,116,379	3,775,827
負債合計	9,542,131	9,094,746

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	643,099	643,099
資本剰余金	248,362	248,362
利益剰余金	1,936,486	1,907,237
自己株式	△36,609	△37,993
株主資本合計	2,791,339	2,760,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,280	72,483
土地再評価差額金	278,760	278,760
為替換算調整勘定	3,037	933
退職給付に係る調整累計額	△17,842	△12,354
その他の包括利益累計額合計	326,236	339,821
純資産合計	3,117,575	3,100,528
負債純資産合計	12,659,706	12,195,274

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	3,739,906	3,212,725
売上原価	2,969,509	2,561,348
売上総利益	770,396	651,377
販売費及び一般管理費	728,631	629,570
営業利益	41,765	21,807
営業外収益		
受取利息	210	151
受取配当金	5,028	4,426
受取賃貸料	6,745	6,637
補助金収入	48,740	18,950
その他	9,637	2,761
営業外収益合計	70,361	32,925
営業外費用		
支払利息	39,857	37,827
賃貸費用	1,783	2,004
シンジケートローン手数料	3,750	4,208
為替差損	2,919	1,757
その他	1,992	1,190
営業外費用合計	50,302	46,989
経常利益	61,823	7,743
特別損失		
固定資産除却損	341	149
特別損失合計	341	149
税金等調整前四半期純利益	61,482	7,594
法人税、住民税及び事業税	11,273	5,265
法人税等調整額	5,666	△6,504
法人税等還付税額	△3,977	—
法人税等合計	12,962	△1,239
四半期純利益	48,519	8,833
親会社株主に帰属する四半期純利益	48,519	8,833



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	48,519	8,833
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,996	10,202
為替換算調整勘定	△2,594	△2,104
退職給付に係る調整額	4,511	5,487
その他の包括利益合計	△1,078	13,585
四半期包括利益	47,440	22,419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,440	22,419
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	61,482	7,594
減価償却費	241,498	228,118
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	345	△303
受取利息及び受取配当金	△5,238	△4,577
受取保険金	△2,824	—
支払利息	39,857	37,827
シンジケートローン手数料	3,750	4,208
社債発行費償却	1,033	1,033
有形固定資産除却損	341	149
売上債権の増減額 (△は増加)	177,742	305,400
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△108,543	△79,402
仕入債務の増減額 (△は減少)	△133,281	△51,325
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,882	△19,989
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△14,431	10,807
その他の引当金の増減額 (△は減少)	19,845	4,124
その他	53,427	△64,302
小計	332,123	379,364
利息及び配当金の受取額	5,238	4,577
保険金の受取額	2,824	—
利息の支払額	△39,137	△37,458
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△15,750	39,148
営業活動によるキャッシュ・フロー	285,297	385,632
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△418,319	△36,792
無形固定資産の取得による支出	△9,932	—
投資有価証券の取得による支出	△2,857	△2,583
その他	244	△172
投資活動によるキャッシュ・フロー	△430,864	△39,548
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	105,000	100,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△250,110	△270,666
シンジケートローン手数料の支払による支出	△780	△1,282
リース債務の返済による支出	△65,362	△75,001
自己株式の取得による支出	△480	△1,383
配当金の支払額	△63,289	△37,613
財務活動によるキャッシュ・フロー	△175,022	△285,945
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,817	△4,222
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△327,407	55,915
現金及び現金同等物の期首残高	1,571,798	1,174,822
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,244,391	1,230,738

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医療機器 事業	精密機器 事業	S P事業	食品容器 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,137,355	2,318,842	195,022	88,685	3,739,906	—	3,739,906
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,137,355	2,318,842	195,022	88,685	3,739,906	—	3,739,906
セグメント利益 又は損失(△)	△86,723	363,474	△1,559	14,871	290,062	△248,297	41,765

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△248,297千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医療機器 事業	精密機器 事業	S P 事業	食品容器 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,073,941	1,900,491	115,327	122,965	3,212,725	—	3,212,725
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,073,941	1,900,491	115,327	122,965	3,212,725	—	3,212,725
セグメント利益 又は損失(△)	△107,073	311,680	△19,321	52,707	237,993	△216,186	21,807

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△216,186千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、「その他」としておりました「食品容器事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。